



**JAMSTEC
PARTNERS**

JAMSTEC has the main objective to contribute to the advancement of academic research, and the cooperative activities on the academic research related to the Ocean for the benefit of the peace and human welfare.

令和2年度 第1回 賛助会オンラインセミナー

日時 令和2年9月29日(火) 15:00~15:50 対象者 賛助会会員向け
実施方 オンライン(Zoom利用による配信での実施)

● 講演 1



「深海底資源開発における環境影響評価」

超先鋭研究開発部門 超先鋭技術開発プログラム
主任研究員 **Dhugal Lindsay**【ドゥーグル リンジー】

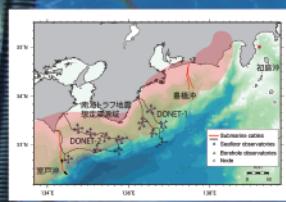
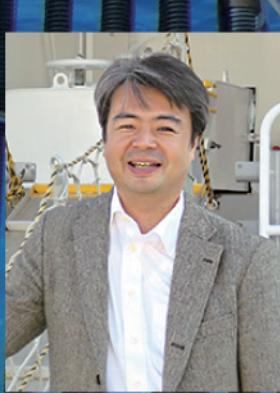
国際海底機構が2020年3月に発表した「深海底における海洋鉱物の探査に起因して起こりうる環境影響の評価に関する契約者向け指針にかかる勧告: ISBA/25/LTC/6/Rev.1」では、海底生物だけでなく、プランクトンを含む中・深層生物への影響をどう評価すべきかのガイドラインを定めています。JAMSTECでは、ハワイ大学の委託を受け(DeepGreen Metals株式会社が発注元)、マンガン団塊が多く分布している海域での第一回目の調査航海が2021年2~3月に予定されています。本講演ではそのベースライン調査の詳細と直面する課題について紹介します。

「光ファイバーセンシングによる地震・地殻変動等の広域地下変動可視化へのチャレンジ」

海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター
観測システム開発研究グループ グループリーダー **荒木 英一郎**

南海トラフで繰り返す「ゆっくり滑り」の実態を把握し、来たるべき巨大地震との関係を明らかにしたいと考え、そのためには必要な、海底でリアルタイムに地殻変動をモニタリングできるような道具を作りたいと私は考えています。いま、既に敷設されて地震・津波の監視のために使われているDONETを拡張して、「光ファイバー歪計」というわずかな海底の歪をとらえることができる装置を設置して実験をしているところです。また近年、海底に展開された光ファイバーケーブルをセンサーとした地震観測(DAS)が行われ始めているのですが、そのような新しい技術も「海底地殻変動の監視」のために使えるようにしたいと考えています。本講演では、それらへの私の取り組みの現状を紹介しつつ、将来的な技術開発やデータ利活用の方向性について私の考えを提案させていただきたいと考えています。

● 講演 2



【講師紹介】1973年生まれ。東京大学理学系研究科地球惑星物理学専攻博士(理学)。2000年より海洋科学技術センター(現海洋研究開発機構)で、海底掘削孔内や海底での地震・津波観測技術開発とデータの解析に取り組んでいる。これまでの主な成果は、2016年までに紀伊半島沖・四国沖にJAMSTECが展開したDONET地震津波観測網のセンサー・観測方式の開発や、「ちきゅう」で掘削孔内に設置するセンサー・観測方式の開発・設置とそこから得られたデータ解析をして沖合で繰り返す「ゆっくり滑り」を見出したことなど。



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

令和2年度

第1回 賛助会オンラインセミナー

15:00~15:50

1

15:00~15:05

挨拶

海洋科学技術戦略部長 豊福 高志



講演

「深海底資源開発における環境影響評価」

超先鋭研究開発部門 超先鋭技術開発プログラム

主任研究員 Dhugal Lindsay【ドゥーグル リンズィー】

2

15:05~15:25

講演15分+質疑5分

日本テレビ「24時間テレビ」や「世界一受けたい授業」、「Begin Japanology」、BSジャパン「ワタシが日本に住む理由」、TBS「動物奇想天外」、NHKスペシャル等の撮影協力及び出演。

著書には、第一句集『むつごろう』(第7回中新田俳句大賞受賞)、第二句集『出航』、『潜水調査船が観た深海生物—深海生物研究の現在』(共著、2008年)、『最新クラゲ図鑑』(共著、2013年)、『日本クラゲ大図鑑』(共著、2015年)、『世界で一番美しいクラゲの図鑑』(監修、2017年)などの著作、監修がある。

3

15:25~15:45

講演15分+質疑5分

講演

「光ファイバーセンシングによる 地震・地殻変動等の 広域地下変動可視化へのチャレンジ」

海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター

観測システム開発研究グループ グループリーダー 荒木 英一郎

4

15:45~15:50

閉会+事務連絡

賛助会事務局

※セミナー終了後、講師にはオンライン上に残ってもらい個別の質疑時間を設けます。

問い合わせ先:海洋研究開発機構 東京事務所 賛助会事務局

東京都千代田区内幸町2丁目2番2号 富国生命ビル23階

TEL:03-5157-3900 FAX:03-5157-3903 Email:sanjokai@jamstec.go.jp



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology